



海のたより



4月ポイントレース
優勝した
ダンシングビーンズ

目次	行事予定
表紙 MCC 4月ポイントレース	5月16日 三河湾合同レース
P 2 ダンシングビーンズ優勝	5月23日 エリカカップヨットレース
P 3 レース成績表	6月20日 MCCカップレース
P 4 スモールはホープ優勝	6月27日 6月スモールレース
P 5 沖縄ー東海レース、トラッカー	
P 6 沖縄ー東海レース、朝鳥乗船記	

MCC海のたより5月号・MCC海のたより5月号・MCC海のたより5月号



MCC 4月ポイントレース

Dancing Beans III 安田

今年のMCC初戦、4月ポイントレース。何とか優勝でき、今年も良いスタートが切れとてもうれしいです。昨年後半から、なかなか、人数がそろわず、JSAF東海チャンピオン、MCC最終戦と、人数不足での欠場を経験し、また、参加できても4人のみと、今年は大丈夫かな〜と心配していましたが、今回のレースは、プロパー6名+数年ぶりの若い女の子1人の計7名参加での参加で臨めました。

第1レース。DBチームがきらいな強風（20k tオーバー）。スタート前から、全員一致の「安全第一、スピンのやめ」が決定。しかしながら、今日は、7人。とりあえず人数がそろってラッキー。まずまずのスタート。

上マーク、風の振れをうまくつかみ、大型艇に続き、3番手の回航。予定通りのスピンアップなし。この後も、安全第一で走り、着順3位でフィニッシュ。

第2レース。リミット寄りからのスタート。そろそろタックと思ったが、他艇がいて向けれない。じゃあ伸ばそ。1上マークはダンゴの中。早く右に反した方が良かったか・・・。

上マーク回航し、何とかスピンアップ。そろそろ、ジャイビングポイント。じゃあ、ジャイブと言ってから……。あー、あー、あー。まさに、踊る豆状態に……。フォアガイが外れるやら、なんやからで、下マークに向けられず、ジャイブが終わった時には下マークからあさっての位置に。

すぐ、ジブアップ、スピンを回収し、横走りで、下マーク回航。大きくロス。今年初のスピン取り扱い者、多数なので、しょうがなし。気を取り直して2上へ。

2下は、1下の失敗の反省もあり慎重ジャイブ、何とか成功。しかしながら、先行艇には中々追いつけず、フィニッシュ。

結果、1レース目、1位。2レース目、3位。総合は、BeBeさんと同ポイントながら最良順位で勝りMCC 1位をとることができました。よくよくレース結果を見てみると、ラグーナ合同のポイントでいくと、DB、BeBe、アルミスは、同ポイント。最良順位で何とか優勝が飾れました。これも、久々に乗せた女神のおかげ？この次も女神を乗せんと・・・？

今年も、安全第一で、楽しくレースに参加させて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願いします。また、関係のみなさん、ありがとうございました。



MCC海のたよい5月号・MCC海のたよい5月号・MCC海のたよい5月号

4月MCC, LYC合同レース成績表

艇名	所属	MRC	第1レース				第2レース				合計 得点	総合 順位
			着	所要時間	修正時間	点	着	所要時間	修正時間	点		
Paraphrenian	LYC	1.069	1	0:30:47	0:32:54	1	1	1:03:45	1:08:09	2	3	1
Flawless	LYC	1.025	2	0:32:17	0:33:05	3	2	1:05:39	1:07:17	1	4	2
Fer de fonte	LYC	0.888	8	0:37:11	0:33:01	2	8	1:17:58	1:09:14	3	5	3
Surfmade	LYC	0.888	10	0:38:03	0:33:47	4	14	1:22:19	1:13:06	6	10	4
Boomerang	LYC	0.888	13	0:41:05	0:36:29	11	12	1:19:51	1:10:54	5	16	5
Dancing Beens 3	MCC	1.016	3	0:34:07	0:34:40	5	7	1:14:25	1:15:36	12	17	6
BeBe	MCC	0.918	11	0:38:21	0:35:12	6	13	1:21:59	1:15:16	11	17	7
Sparky Racing	LYC	1.034	4	0:34:40	0:35:51	10	3	1:10:44	1:13:08	7	17	8
Armis 5	MCC	1.021	5	0:35:05	0:35:49	9	4	1:11:40	1:13:10	8	17	9
Horizon	LYC	0.957	9	0:37:25	0:35:48	8	11	1:19:27	1:16:02	13	21	10
Odyssey	MCC	0.98	7	0:36:07	0:35:24	7	9	1:18:57	1:17:22	15	22	11
High Tension	LYC	0.844	15	0:44:42	0:37:44	13	16	1:27:11	1:13:35	9	22	12
Red Star & Yakushi	LYC	0.888		PMS	PMS	19	10	1:19:19	1:10:26	4	23	13
Roku 3	LYC	1.015	12	0:38:39	0:39:14	14	5	1:13:35	1:14:41	10	24	14
Danryu 2	LYC	1.037	6	0:35:55	0:37:15	12	6	1:14:21	1:17:06	14	26	15
Spirit	LYC	0.797	16	0:52:37	0:41:56	15	17	1:38:55	1:18:50	16	31	16
Lutris	MCC	0.992	14	0:44:13	0:43:52	16	15	1:22:23	1:21:43	17	33	17
Shizuka II	LYC	0.844	17	0:55:50	0:47:07	17	18	1:39:52	1:24:17	18	35	18

MCC 4月ポイントレース成績表

艇名	TYPE	第1レース				第2レース				合計 得点	総合 順位
		着	所要時	修正時	順位	着	所要時	修正時	順位		
Dancing Beens 3	Seam 31	1	0:34:07	0:34:40	1	2	1:14:25	1:15:36	3	4	1
BeBe	Pioneer 9FR/PB	4	0:38:21	0:35:12	2	4	1:21:59	1:15:16	2	4	2
Armis 5	J/V9.6CR	2	0:35:05	0:35:49	4	1	1:11:40	1:13:10	1	5	3
Odyssey	Tsuboi IMS950	3	0:36:07	0:35:24	3	3	1:18:57	1:17:22	4	7	4
Lutris	Slot 31	5	0:44:13	0:43:52	5	5	1:22:23	1:21:43	5	10	5

4月スモールレース成績表

レース名	4月スモールクルーザーレース					ファーストホーム	バイキング	
コース	S→小島ブイ→S→小島ブイ→F					優勝	ホープ	
艇名	型	所属	MRC	着順	所要時間	修正時間	順位	
ホープ	YAM21C	SCR	0.817	2	1:10:27	0:57:33	1	
アヤ	YAM21S	SCR	0.822	4	1:13:25	1:00:21	2	
バイキング	X79	SCR	0.885	1	1:08:37	1:00:44	3	
ハニービー	YAM23	SCR	0.844	3	1:12:26	1:01:08	4	

MCC海のたより5月号・MCC海のたより5月号・MCC海のたより5月号

4月25日 スモールレース第1戦 ホープ優勝

ホープ 南原

今年もシーズンイン、先週のMCCに続きスモールレースも始まりました。例年4月は強風で中止になることも多いのですが、今回は快晴・微風の好条件となりコミッティとしても一安心。そう、コミッティの担当でありながら記事を書いているということは、レースにも出たんです。本当は人数がぎりぎりのところ、中村さんと多田さんに協力していただくことで、両立できました。ありがとうございました。

さて参加艇は、ホープ、アヤ、ハニービー、ヴァイキングの4艇。この中で特筆すべきはハニービー。なんとピカピカ・パリパリのニューセール。聞くところによると10年ぶりだそうで、これについては特集記事も別途あるようです。さらに、ヴァイキングがリトルウィンディーとの連合で参加。正直なところ今回は手強い。

ハーバー前から小島ブイを2往復とコース決めをして出港。風は南から南西で小島ブイまではスターボがかなり長い。他の艇の走りも良く見えてかなり不安だが4位でもコミッティポイントより良いんだからと早くも言い訳を考える（最初から弱気な）。



スタートは右エンドから出て右からの断続的なブローを取る戦略で。これならスタートミスしてもタックで逃げられる（またまた弱気な）で予定の位置からスタート。その際にアヤを抑えて暫定3位を確保し満足（まだ弱気）。

スターボのまま小島ブイへ伸ばすと、左海面のハニービーとヴァイキングよりも角度が良く走り負けなし。右海面を取った甲斐があったようだ。そして上マーク直前、ハニービーとヴァイキングの目の前でタック（やっと強気に）、完全に抑えて1位で回航。この時点で大きなリードとなった。その後は冷静に走りきるのみ。スピンはポートロングのレグとわかっていたので、ベアセットしたあとすぐにジャイブ。下マークのスピンドアウンも2回目のランニングを意識して下取り込み。

2回目の上りはヴァイキングが実力どおりに速いが焦ることはない。唯一の想定外はポートタックのOP級が避けてくれなくて、こっちがタックしたこと。2度目の上マーク回航は予定どおりジャイブしてからスピニアップ。後は走りきってフィニッシュでは2着。修正で1位となりレース前の弱気とは裏腹に勝つことができた。さて始まったばかりのスモールレース。しかしながら私としては既に別の予定が入っている日もあり、このあと何回乗れるのだろうかと不安が。ということで、後は北河さんに任せきりになりますが、今年もよろしくお願いします。

海で見かけたらいろいろアドバイスをお願いします

ハニービー 三戸

ヤマハ21から23に換えて10年になります今年はメインセールとNo.1ジェノアをハリケーンで新調しました。4月のスモール初戦の前に走って調整してから参加する予定だったのですがNo.1で走るには強い風が続いていたので、結局レース当日に初めてあげることになりました。

セールを新調すると気分もあがる、ってわけでレース当日は早めに集合したのだけどセールがつるつるして（嬉しい）セットにもなぜかいつもの3倍かかる（でも楽しい）。スモールレースには適度な微風でテストランにはぴったりの風でテンションあがります。あげてみるとやはりきれいなカーブ（やはり嬉しい）。

今年の初レースはヘルムスマン（わたし）が蛇行しふらついたりマークタッチまでしてしまい結局最下位で不本意で申し訳ない結果はありましたが楽しみな今シーズンが始まりました。

海で見かけたらいろいろアドバイスをお願いします。スモールクルーザーレース全レース参加を目標にして家事&仕事をやりくりしてがんばります！



MCC海のたより5月号・MCC海のたより5月号・MCC海のたより5月号

沖縄-東海ヨットレース 2010 (通信担当者の独り言)

私は、今(4月30日午前10時)ラグーナのレース本部に詰めていて、8時間毎のロールコールを担当しています。参加艇は現在徳之島を挟んでダンゴ状態になっており、快走とまではいきませんが、NW～Nの風15Ktといったところです。

さて、このレース開催に係わる道のりは新聞紙上などで皆さんご承知と思いますので、日本で初めての試みとなった画期的な「OCトラック」の概要についてご紹介します。

沖縄-蒲郡でヨットレース

神樂舞、海神宮を藩政の自衛と「神楽」東洋化として、
ツレエが王六丁、五月九日に開かれ、ヨシツ
の橋被拜り、「アサ外洋奉迎」（全長五尺）の
が初めて踊られ、て、直距離約三三百十間、内長
は、間置きは「尾距離外伴」ツレエはなな
なうており、せむ助ささいい」と喜ぶ込込に
る。 （中山昭等）

数日間には及ぶ外れス、齊川県隈沢也）な数少
は体方精神大、海の知識もく、千を越えしはは
め、進歩的な幾幾力求、（アサ）外洋奉迎奉
められ、船中のベルナル（一戰役の艦に居距離
にもなるがないう、かゝ一の僅が欠がない
しては神樂、東京、小原となくツレエの養護二
一東京、東京、クアムをな準備を重ねて）
のレーガが、お経、参加するは貴が記号
情勢の悪化影響千年は、いは三折挑戦、太
事故までの影響千年は、日程の中は安寧
た。 恒長會議をもひ、事議

現行団で行われている 海神神社をタテする前
外れスは「パール」二千四一、一軒十二年前
ス）三重県南勢町 神が薨りぬ、遷葬二月

名古屋の団体 県内から3艇
26日から開催



レース運営を打ち合わせる実行委員ら＝蒲郡市のラグナマリーナで

国内最長
1330
キロ

1350キ
ロ

レース上、各組の位置を把握し、ホームベシとして公開するシステムを内では初めて導入する。森岡隆夫実行委員長は「広く関心を持ってもらい、本格的な外洋レースとして親睦的な交流できるところになれば」と話している。



皆さんはこの OC トラッカーの画面を既に楽しんでおられるかも知れません。陸上の家族や関係者にとって、自宅のパソコンで全艇の動静が一目で把握できるため、安心感がさらに充実することになりました。これは、英国の OC テクノロジー社からレンタルしたもので、途中アイスランド地震の影響をもろに受けて日本への空輸到着が危うくなった場面もありました。

イリジウム衛星携帯電話に GPS の位置情報機能を付加した防水性のペットボトルサイズで、15分毎に情報を更新してマップ上に表示するシステムまでをセットにした商品です。

海外のヨットレースや自動車ラリーではこの搭載が義務付けられていますが、日本では電波法上の制約があり、これまで実用化がされていませんでした。

本沖縄レースの運営にあたり、安全な運営と人命尊重を最優先に捉え、参加艇の動静把握のための通信手段を次のツールを装備して拡充を図ることにしました。

- ① 衛星携帯電話(常用と予備の2台) ② 国際VHF無線機
② EPIRB ④ OCトラッカー

この OC トラックは外国製の通信機器であり、電波法第 103 条の 5 の規定に抵触し日本国内では使用不可となっていますが、何としてもこの便利なツールを是非導入したいという熱い思いを持って JSAF 理事と共に総務省へ足を運びました。幸いイリジウム衛星携帯電話については、KDDI が日本国内の包括免許人であり、こことの合意が得られれば不可能ではないとの見解、指導を受け約 1 ヶ月間にわたり種々の協議を経て導入につぎつけたものです。

見ていてとても楽しいツールです。手続、コストの面で課題が残っていますが、もっと簡略な方法で利用できるよう関係者と調整を図っていきたいと考えています。

(沖縄-東海ヨットレース 2010 実行委員会 通信担当・菱田)



沖縄—東海ヨットレース2010乗艇記

Little Windy 高雄
(朝鳥)

MCCの皆様、Little Windyの高雄です。(朝鳥に乗艇)
無事にフィニッシュする事が出来ました。今はレースを終えた達成感でいっぱいです。(今だ、陸揺れです)
成績もレース準備からコツコツとの積み重ねで、2着で蒲郡に戻ってきました。
皆様にはいろいろと応援頂きありがとうございます。大変感謝いたします。



はじめに

乗艇するきっかけは、たまたま、ハリケーンに遊びに行った時雑談で沖縄レースの話をしていたのがきっかけとなりハリケーン石川社長とフローレスで一緒にさせて頂いていることも有り乗艇が決まりました。これが、昨年の秋ごろかな？
気持ち的には、まだまだ時間があるな～あ 5艇エントリーが無ければ中止だしどうなることかな・・・？って感じでした。

準備編

朝鳥も昨年夏の台風の被害を受け、取りあえずの大急処置状態でしたがようやく今年に入り2月・3月で日産マリーナにて新艇のようにピカピカになりラグーナに帰港しました。

ここからは安全備品、各種の機能チェックと毎週のように整備&ミーティングを行い徐々にレースモードに入り緊張感が込み上げてきました。

3月29日にいよいよ回航チームが沖縄へ向けて出港、ただただ無事を祈るだけです。幸い、回航チームはパソコンを持ちメール及び朝鳥のブログにて連絡を取り合っていましたので艇の状態を知る事が出来、破損したものについては名古屋から沖縄宜野湾マリーナへ送り回航後修理することに・・・！

いろいろとトラブルがあり大変な回航のようでした。(朝鳥ブログ参照)

4月12日ごろ朝鳥は無事、宜野湾マリーナへ到着、破損した箇所を修理し回航チームが戻る事に(お疲れ様でした)4月24日、25日に先発隊が沖縄入りし艇のチェックレインスペクションの準備(25日は同じ Little Windyの石川君が沖縄入り)

26日インスペクション無事終了。(お疲れさまでした)

27日、私は沖縄に向け出発、中部国際空港にて北河さん(同じ航空便)に会い何となくMCCの慰安旅行の感じがし心がなごみます。

無事に飛行機は那覇空港に着き一旦北河さんと離れ、私は大学時代の友人が沖縄在住なので空港まで迎えに来ていただき20年ぶりの再会、会話をはずませながら宜野湾マリーナへ直行、生憎天気は雨その日は艇の整備があまり出来ず運営側のお手伝い。

夕方、那覇市内のホテルにチェックイン、夕食を食べながらミーティング、その後は繁華街にて参加艇でライバルのトレッキーチームと合流し親睦を深め互いに検討を誓う(実は、皆様の想像通りくしゃくしゃな夜でしたアハハ・・・ハ)

MCC海のたより5月号・MCC海のたより5月号・MCC海のたより5月号

28日、艇長会議・安全講習（艇長の林さんとチームキャプテン石川さんが参加　その他は船底掃除・整備及び荷物食料の積み込み）



朝一番、上架準備のためクレーン下へ移動



船底風景、高圧洗浄機及びペーパーにて清掃、よく走りますように



ちょっと、癒しの写真、クレーン下の海です。
水族館のように綺麗です。
見える魚と言えば熱帯魚。



船底作業終了し再び準備、
ちょっと一休みのパチリです。

夕方からは、ウェルカムパーティーが有り、再び北河さんに再会、北河さんがプレスのカメラマンのようでした。MCCの時とはちょっと違っていました。パーティーの様子はレースのホームページをご覧ください。雨の中のパーティーでしたが最後のエイサーと言う沖縄の舞踊かなこれには感動、機会がありました皆さん見てください。



応援団と一緒に

レース編（29日いよいよレース）

昨日（28日）の予想では、30ノットの向かい風（最悪です）しかし、海面に行くと少々弱く（20ノット強）No. 2+フルメインでスタート。ラインは明らかに上有利、ほとんどの艇が上ーを狙う。

朝鳥も中々のスタート、順調に艇速を付け2時間後あたり

MCC海のたよい5月号・MCC海のたよい5月号・MCC海のたよい5月号

からラインオーナーに立つ、その後ジワジワ前に出てレースを引っ張る形となる。しかし、長丁場のレース何が起こるかわからない。

夕方、後方にいたガストが岸（沖縄本土側）に寄せジワジワと差を詰める、朝鳥の向かう方向はイエジマ水道（漢字苦手なので）ガストも同じコース。イエジマ水道を一番に抜け2番手はやはりガスト、なんとなく差が縮まった気が・・・！このまま次の目的地キカイ島（度々漢字が苦手なので）の東を狙う、東からの風に期待する。

夜になると岸側を進むガストの方が艇速が伸び逆転されミート、前を切られる（悔しいです）

おまけに上側で押さえのタックまで、しかし我慢し艇を走らせる。

結果、下突破成功“ヤッター”ガストはタックし奄美大島とキカイ島の間を狙う（OCトラッカー参照）朝鳥は予定通りキカイ島の東を狙う。

ここからは、他艇は確認出来ずひたすら自分達のコースを信じ進むだけとなる。30日に入ると風はますます落ち何とまあクルージング日和なんだろうといった感じとなりなかなか艇足が伸びない。そんな中、心癒すホエールウォッチング。

予定では、2日目には種子島まで行く予定でしたが種子島を越え黒潮に入ったのが3日目トホホ・・・ホ、初めて見る黒潮に感動を覚えるかと思いきやただの海（うわさでは海の色が黒いと聞いたのにその情報はデマでした）一気にガストとの差を黒潮に乗せ縮めるつもりがまさかの黒潮本流のなかで2.5ノットの逆潮（なんだこりゃ！）

またまた艇速伸びず。しかし、情報によればガストも緯度・経度の位置からして黒潮本流から外れた位置で艇速が伸びていない模様（チャンス到来！）

が、しかしなかなか黒潮本流に乗れず、ようやく潮に乗ったと思えばボートスピード0ノット、SOG1.5ノット、潮に乗って進むだけのレース展開。

足摺岬沖を越えてからようやく待望の風（18ノットほど）が吹き艇は爆走、しかし長続きはせず4時間くらいかな？徐々に風が落ち又もクルージング日和となる。クルージング日和になるとホエールウォッチングが始まる。今度は、艇の5mほど横を体長7mくらいの鯨がすれ違う。間近に見る鯨に感動（写真がないのは残念です）なんだかんだで潮岬を夜中に通過。なんだか久しぶりの灯台の明かりに嬉しくなる、ここからは陸地が見えなんとなくホッとす。しかし、三木崎の沖で又もカームに捕まる（見事な鏡の海でした）そのころガストは同じように大王崎手前で足止め状態。

早くカームを抜け出したいがガストの方が先に風が入る（悔しいです）後は、フィニッシュまでその差は縮めることが出来ず、ガストに軍配が上がり遅れること7時間でフィニッシュ。フィニッシュ付近にてラグーナ所属艇に並走“がんばって、お帰り〜い”と声をかけられフィニッシュする。感動がいつも以上に感じる。

フィニッシュのホーンが鳴り“終わった”。大満足なレースでした。

今回は、初めてOCトラッカーを搭載し全艇の位置がリアルタイムに見え、レースに参加されてなくてもすごく楽しかったかと思います。

沖縄の方は、沖縄スタートではなく、沖縄フィニッシュを熱望しておりました。



沖縄の友人に撮ってもらいました。
朝鳥のメンバーです。

MCC海のたよ15月号・MCC海のたよ15月号・MCC海のたよ15月号